

【検討会の議事概要】

検討会の設置趣旨、ICTを活用したコンテナ輸送効率化の方針等について了承をいただきました。

主な議論は以下の通り。

- ① 港湾の情報化は単に渋滞対策や作業効率化という視点だけではなく、世界的な港間競争が激化する中で、港間の国際競争力の強化に向けて、不可欠な基盤整備であるという認識で早急に取り組むべきとのご指摘がありました。
- ② 輸送効率化は有意義なので、関係者とともに協力していきたいとの意見がありました。
- ③ 3年後の本格運用では遅いため、より早期の導入を目指すべきとのご意見がありました。

【開催内容】

日 時:平成28年12月15日(木) 13:30-14:45

場 所:関東地方整備局 横浜第二合同庁舎 14階 141会議室

主 催 者:関東地方整備局



検討会の状況



高田副局長挨拶

【検討会出席者名簿】

第1回 ICTを活用した横浜港コンテナ輸送効率化検討会

(委員)

神奈川県港運協会 横浜港運協会 常務理事

水上 裕之

三菱倉庫株式会社 横浜支店 副支店長

西 亨

神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会 部会長

藤木 幸二

京浜海運貨物取扱同業会 業務委員会 副委員長

佐藤 康

(代理: 京浜海運貨物取扱同業会 副会長)

渡邊 正男)

横浜市港湾局 港湾物流部 部長

鈴木 健一

(代理: 港湾物流企画課 課長)

新保 康裕)

横浜川崎国際港湾株式会社 企画部長

正岡 孝

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部長

加藤 雅啓

(関係者)

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 ソリューション事業推進部 次長

根木 貴史

国土交通省 港湾局 港湾経済課 港湾情報企画調整官

松田 茂

(代理: 港湾経済課 専門官)

松田 雅宏)

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 危機管理室 室長

佐瀬 浩市

国土交通省 関東地方整備局 副局長

高田 昌行

ICTを活用したコンテナ輸送効率化における施策の方向性

コンテナ搬出入情報とコンテナ車両位置情報を関係事業者間でリアルタイムで共有・活用する方策を検討。
 また、セキュリティの適切かつ効率的な確保の観点から、出入管理情報システム(PSカード)との連携を行うことを検討。

(目指すべき方向)

- ① **ゲート処理の効率化**
- ② **ヤード内荷役作業の効率化**
- ③ **内陸コンテナ車両位置情報の可視化**

(主な施策)

- ⇒ 貨物情報等の事前共有、ゲート処理のICT化
- ⇒ 事前登録情報及び内陸コンテナ車両位置情報の活用
- ⇒ 車両位置のリアルタイム情報の取得

リアルタイム情報の
関係者間での共有・活用

輸入:(実入り貨物の搬出)イメージ

